

# 統計データからみた地域連携

地域連携室

萩田和彦 西尾通靖

H22.4.14

- 1 . 急性期病院 紹介率と逆紹介率
- 2 . 地域医療支援病院 紹介率と逆紹介率
- 3 . 高度医療機器の共同利用
- 4 . 開放病床利用の推進
- 5 . 亜急性期病床の活用
- 6 . 中東遠地域の回復期リハビリテーション  
病棟について
- 7 . 今後の連携体制について

# 1. 急性期病院紹介率と逆紹介率

平成15年度～平成21年度紹介率・逆紹介率

	初診患者数	文書により紹介された初診患者数	救急自動車での搬送患者数	時間外に受診した6歳未満の初診患者数	逆紹介患者数	紹介率	逆紹介率	再診を含む紹介患者	再診を含む検査紹介患者
H15	29,083	4,299	2,558	2,027	3,826	25.3	13.2	5,542	847
H16	29,725	4,990	2,581	2,106	5,610	27.4	18.9	6,385	968
H17	25,181	5,710	1,653	1,946	6,323	31.7	25.1	7,359	1,048
H18	26,113	6,146	2,455	1,544	7,523	35	28.8	8,114	1,142
H19	24,194	7,153	2,255	1,295	7,627	41.1	31.4	9,370	1,509
H20	20,722	7,049	1,520	1,267	6,817	44	32.9	9,818	1,583
H21	19,454	7,400	1,464	806	7,375	47.5	37.9	10,278	1,687

紹介率 = (文書により紹介された初診患者の数 + 救急用自動車での搬送患者数) ÷ (初診患者の数 - 時間外に受診した6歳未満の初診患者数) × 100

逆紹介率 = 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 × 100

# 2-1. 地域医療支援病院紹介率と逆紹介率

平成19・20・21年度地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

		平成21年度		平成20年度		平成19年度	
		年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均
初診紹介患者数		7,400	617	7,049	587	7,171	598
緊急入院した初診の救急患者数		2,382	199	2,259	188	2,416	201
初診患者数		19,454	1,621	20,722	1,727	24,687	2,057
時間外に受診した初診の救急患者数		5,397	450	6,954	580	7,094	591
時間外に緊急入院した患者数		1,815	151	1,877	156	2,019	168
逆紹介患者数	(A)	7,480	623	6,762	564	6,379	532
(1) 地域医療支援病院紹介率			61.6		59.5		48.9
(2) 地域医療支援病院逆紹介率			47.1		43.2		32.5

(1) 地域医療支援病院紹介率計算式

$$\frac{\text{初診紹介患者数} + \text{緊急入院した初診の救急患者数}}{\text{初診患者数} - (\text{時間外に受診した初診の救急患者数} - \text{時間外に緊急入院した患者数})} \times 100$$

(2) 地域医療支援病院逆紹介率計算式

$$\frac{\text{(A)逆紹介患者の数}}{\text{初診患者数} - (\text{時間外に受診した初診の救急患者数} - \text{時間外に緊急入院した患者数})} \times 100$$

## 2 - 2 . 地域医療支援病院について

- ・ 趣旨

紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る。

- ・ 役割

紹介患者に対する医療の提供(かかりつけ医等への患者の逆紹介も含む)

医療機器の共同利用の実施 救急医療の提供 地域の医療従事者に対する研修の実施

- ・ 紹介率要件

紹介率80%を上回っていること

紹介率が60%を超え、かつ、逆紹介率が30%を超えること

紹介率が40%を超え、かつ、逆紹介率が60%を超えること

数年間の実績をもとに、安定してクリアできること

### 県内の取得病院

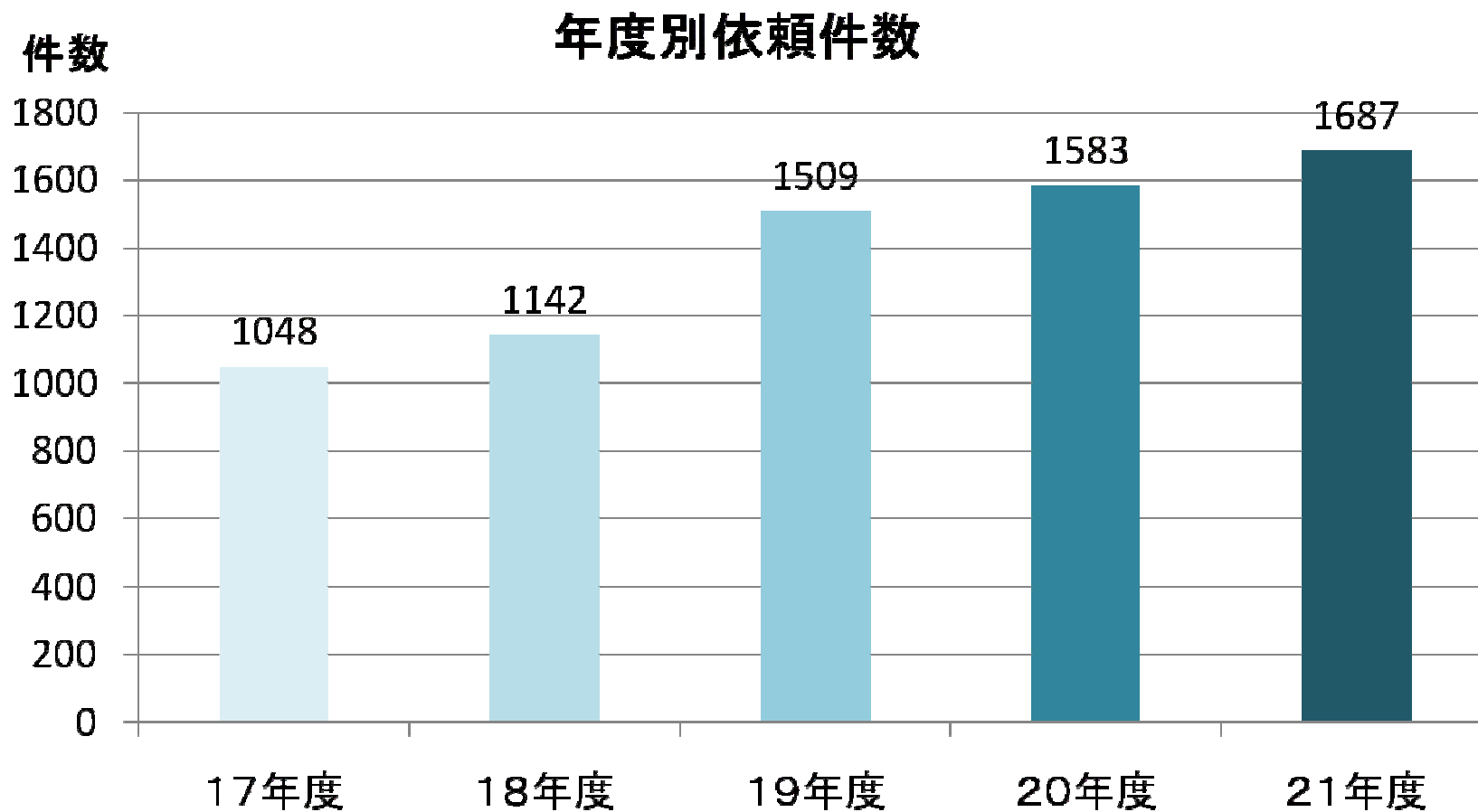
- ・ 県西部浜松医療センター・聖隷浜松病院・聖隷三方原病院・静岡県立こども病院
- ・ 静岡市立静岡病院・沼津市立病院・静岡県立総合病院・浜松赤十字病院

## 3 - 1 . 高度医療機器の共同利用

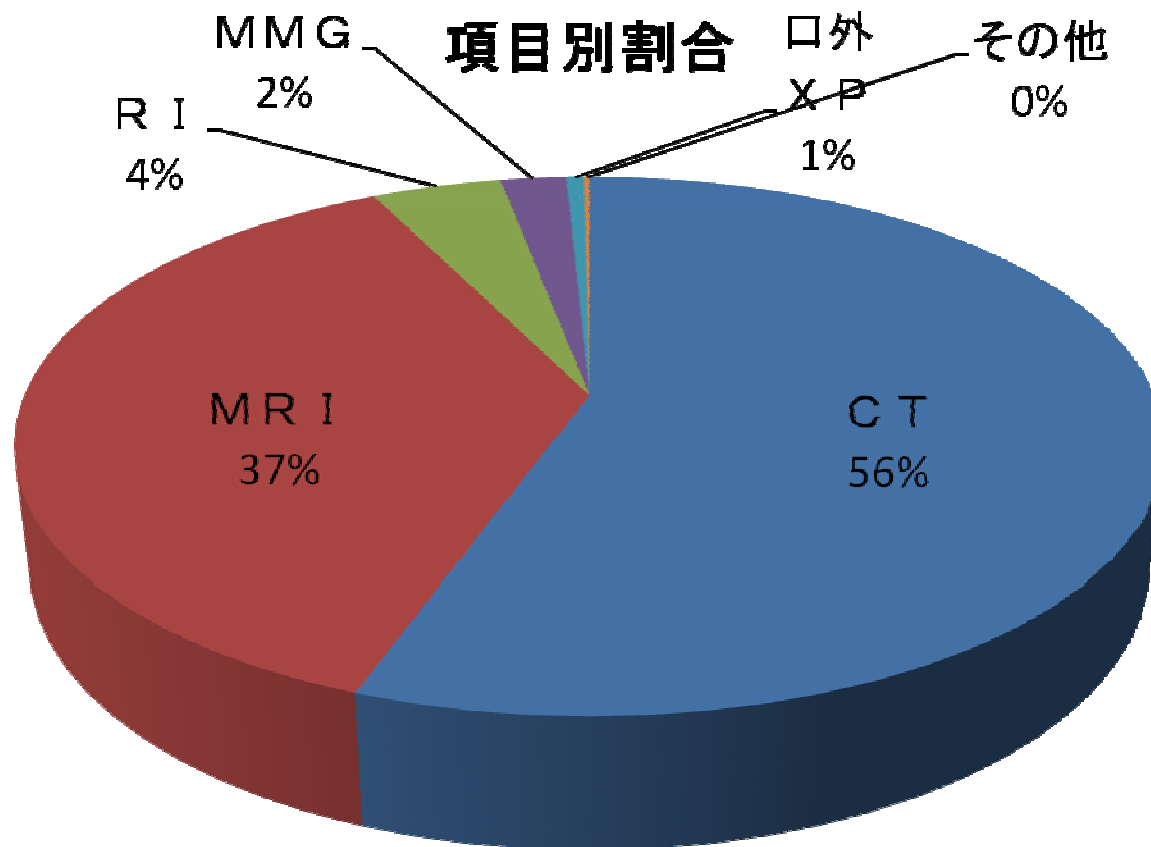
項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
CT	577	623	874	881	916
MRI	362	406	540	586	692
RI	47	68	66	74	49
MMG	31	31	27	40	25
口外XP	25	13	2	0	1
その他	6	1	0	2	4
計	1,048	1,142	1,509	1,583	1,687

放射線科専門医の読影報告が、診療所医師の治療に役立つ

## 3 - 2 . 高度医療機器の共同利用



### 3 - 3 . 高度医療機器の共同利用





## 4 . 開放病床利用の推進

- 診療所かかりつけ医師と病院医師との共同診療  
患者さん中心の医療が一貫して受けられ、安全で良質な医療を地域に提供できる
- 平成18年6月10床でスタート  
施設基準は、申請時病床利用率20%以上(実患者数)  
H18年度 25.5%(44人)    H19年度 30.3%(62人)  
H20年度 38.5%(43人)    H21年度 30.5%(56人)  
整形外科20人 循環器内科14人 神経内科6人
- 開放病床への取り組みの継続  
地域医療の変化に対応し、病診連携と医療施設の共同利用を進め、地域医療の向上に寄与する

# 5. 亜急性期病床の活用

(1) 科別延べ患者数の推移

(単位:人数)

	H19	H20	H21
内科	54	388	375
循環器内科		157	168
整形外科	2,332	2,465	5,048
神経内科	372	402	209
脳神経外科	490	302	581
皮膚科	22	26	62
消化器内科	65	114	54
外科		12	13
呼吸器内科	88	60	160
耳鼻咽喉科	35		
合計	3,458	3,926	6,670
一日平均	9.4	10.8	18.3

- 急性期治療を経過した患者、在宅・介護施設等からの患者であって症状の急性増悪した患者に対して、在宅復帰支援機能、効率的かつ密度の高い医療を提供する病床
- 90日を限度として入室…**オーバーすると特別入院基本料 575点**

(2) 一般病床との医療費比較

単位：点（1点＝10円）

	H19	H20	H21
実人員(人)	209	246	417
亜急性期病床	13,345,526	15,130,130	14,863,528
一般病床	11,286,705	12,745,327	10,940,908
点数差	2,058,821	2,384,803	3,922,620

➤ 年度別収益

平成21年3月10床 20床

平成19年度 20,588,210円 月平均 1,715,684円

平成20年度 23,848,030円 月平均 1,987,336円

平成21年度 39,226,200円 月平均 3,268,850円

## ➤ 入院日数と診療収入の関係

### 1. 包括払い制

- ・検査や投薬・処置の回数や量にかかわらず入院基本料は  
**2050点**

- ・DPCと包括部分は同じ

急性期治療終了時点数の早期把握

### 2. 平均在宅復帰率・・・**3ヶ月平均で施設基準60%以上 基準を満たさないと、施設基準返還**

### 3. 平成22年3月末

2階東	230号室	72.7%	231号室	85.7%
-----	-------	-------	-------	-------

3階	336号室	90.9%	5階西	512号室	70.0%
----	-------	-------	-----	-------	-------

## 6 . 中東遠地域の回復期リハビリテーション病棟

### ➤ 自治体病院

- ・市立御前崎総合病院 38床
- ・菊川市立総合病院 40床
- ・公立森町病院 38床

### ➤ 民間病院

- ・すずかけヘルスケアホスピタル 30床  
(磐田脳神経外科病院 70床・・・一般病床)

**民間病院は新設・増床を計画**

**医療機関・福祉機関が機能分担の役割を果たすことにより、シームレスな医療連携が地域に推進される**

# 地域医療連携とは

住み慣れた地域で患者中心に  
医療機関が、シームレスな連携  
をし合うことで、患者・家族・住民  
のQOLの向上に寄与すること

# 7. 今後の連携体制について

## 院内の連携体制の推進

外来と入院、急性期と亜急性期

## 機能分化による推進

医療施設等との機能分化と連携

## DPCとの関係

個別点数と新しい機能評価係数

## 新病院に向けた方向性

**今後地域連携推進に  
ご協力をお願いいたします**